

平成 25 年度第 2 回長野市歴史的風致維持向上協議会 会議記録（概要）

日時 平成26年 2 月 25 日（火）

午後 2 時～午後 4 時

場所 第一庁舎 8 階 第一委員会室

出席委員 10 名

赤羽委員、北村委員、小林委員、笹澤委員、宮下委員、中島委員、極意委員、小野委員（代理出席）、根津委員、藤沢委員

（5 名欠席 牛山委員、土本委員、若麻績委員、中村委員、唐澤委員）

1 開 会

定足数の確認

2 挨拶

北村会長

3 協議事項

(1) 長野市歴史的風致維持向上計画の進行管理・進捗評価について

| | |
|------|---|
| ・説 明 | 事務局：資料 1 により計画の進捗評価を説明 |
| ・質 問 | 「戸隠古道現状調査事業」に、一の鳥居の復原をこの事業に加えられるか。 |
| ・回 答 | 一の鳥居の復原は想定してない。案内板の整備を中心に考えている。 |
| ・質 問 | 「善光寺周辺地域道路美装化事業」と「善光寺周辺地域電線類地中化事業」は、次期善光寺御開帳までに完了するのか。 |
| ・回 答 | 電線類地中化事業は、次期御開帳までに完了するが、道路美装化は交通規制等の問題から、一部の路線が未着工となる見込み。 |
| ・質 問 | 「中央通り歩行者優先道路化事業」について、長野駅～昭和通りの区間は、事業を実施しないのか。 |
| ・回 答 | 長野駅～昭和通り間の事業実施に向けて、県と協議を開始したところ。バスの交通量が多いため、交通事業者にも協議する必要があることから、もう一つ先の段階となる。善光寺御開帳と新幹線の金沢延伸が一区切りとなる。 |
| ・質 問 | 「効果・影響等に関する報道」の評価が「計画の進捗に影響あり」としているが、「長野検定」の実施」の評価を「計画の進捗に影響なし」とした理由は。 |
| ・回 答 | 今年度の長野検定の実施を受け、来年度ガイドボランティアの研修が始まることから、ガイドボランティア研修の実施後に「計画の進捗に影響あり」としているが、「長野検定」の実施」の評価を「計画の進捗に影響なし」とした理由は。 |

| | |
|-----|---|
| | 響あり」と評価したい。 |
| ・質問 | 「戸隠地域建物修景助成事業」について、伝建制度の導入を見据え実施するとしているが、戸隠地区の重伝建の見通しは。 |
| ・回答 | これまで、街なみ環境整備事業の導入のための基礎調査が行われたことから、来年度で保存対策調査を完了させ、平成27年度に文化庁へ重伝建の申請を行う予定。 |
| ・質問 | 「史跡松代城跡保存整備調査研究事業」について、㈱マツヤ松代店が今年3月で閉店するが、旧城郭に位置している。現在何か分かっていることがあるか。 |
| ・回答 | ㈱マツヤ松代店が今年3月をもって閉店するという新聞が唯一の情報。城郭の範囲に位置しており、将来構想は、松代城史跡の追加指定をしていくべきと考えるが、具体的には、これからの地元の動き等を踏まえ検討していく。 |
| ・質問 | 「耐震性貯水槽整備事業」について、用地確保ができず計画を見直すとしているが、今後はどのような方法を考えているか。 |
| ・回答 | 長野電鉄屋代線が廃止され、将来的に駐車場として整備される松代城跡東側に設置する方向で検討していく。 |
| ・質問 | 松代駅と信濃川田駅の駅舎は残すのか。 |
| ・回答 | 両駅は残して活用していく方向。ただし、耐震診断の結果により、方針変更も有り得る。具体的な活用方法は、地元と協議中。 |
| ・質問 | 信濃川田駅には鉄道車両が残されている。駅舎と一体的に保存・活用すべきではないか。 |
| ・回答 | 信濃川田駅舎は、屋代線トレインメモリアルパークをテーマに整備していく。現段階では、自転車道の休憩所、代替バスの待合所、観光客のためのトイレ設置が決定している。具体的には地元と協議中。鉄道車両の使用方法は、地元からの意見・提案を詰めている段階で、まだ決定してない。 |
| ・質問 | 鬼無里の松巖寺について、当協議会設立の趣旨に沿い、建物の保存だけではなく、観光客を呼び込むような方策が必要ではないか。 |
| ・回答 | 今後、松巖寺及び地元と協議し、イベント等を考えていく。 |
| ・質問 | 「弥栄神社の御祭礼等支援事業」について、次期善光寺御開帳には屋台巡行が行われないことを懸念している。今年度の屋台巡行は、観客が少ないと感じた。巡行を行う人の意欲を湧かせるためにも、次期御開帳時の実施が必要ではないか。 |
| ・回答 | 祇園祭の御開帳時の実施は、祇園祭事務局及び善光寺で議論し、御開帳の年には行われない方向で固まりつつある。理由は、御開帳と祇園祭の混雑に対する対応への懸念が警察からだされたことと、7月に行われているという伝統を重視したため。ただし、方針はまだ決まってない。 |

| | |
|-----|--|
| ・意見 | 「戸隠古道現状調査事業」について、今後文化財にしていくには、戸隠古道が存在するのかを踏まえ、そのルートに何があるのかしっかり調査する必要がある。 |
|-----|--|

(2) 長野市歴史的風致維持向上計画の変更について

(3) 歴史的風致形成建造物の指定について

| | |
|-----|---|
| ・説明 | 事務局：資料2-1、2-2により計画変更を説明 資料3により建造物の指定を説明 |
| ・意見 | 今回の5件を歴史的風致形成建造物に指定することについて了承する。 以下、長野市歴史的風致維持向上計画全般に関する意見 |
| ・意見 | 長野電鉄駅舎の保存活用について、今後文化財として考えていくには慎重に進める必要がある。地元からは多様な要望が出るだろうが、同様の施設が数多く出来ても、どこも不活発になる恐れがある。将来がどうなるかを踏まえることが必要。 |
| ・意見 | 戸隠古道は、案内をしっかりとらせ、トレッキングコースとして整備するべき。 |

4 その他

今後の予定について

- ・長野市歴史的風致維持向上計画変更（案）は、当協議会及び各住民自治協議会等の御意見・御提案を踏まえ、3月上旬に国へ変更認定申請をしていく。
- ・委員の任期は、要綱附則により今年度末までとなる。来年度は委員改選の年だが、再任をお願いする場合は、お引き受けをお願いしたい。
- ・次期協議会は、来年度の進捗状況等を報告させていただくため、秋ごろの開催を予定している。

5 閉会

まちづくり推進課 上平課長